



各 位

平成27年11月6日

上場会社名 古河機械金属株式会社
 代表者 代表取締役社長 宮川 尚久
 (コード番号 5715)
 問合せ先責任者 経理部長 酒井 宏之
 (TEL 03-3212-7021)

平成28年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成27年5月8日に公表いたしました平成28年3月期通期連結業績予想値を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正

平成28年3月期通期連結業績予想値の修正 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A) (平成27年5月8日発表)	百万円 172,500	百万円 9,000	百万円 7,500	百万円 5,000	円 銭 12.37
今回修正予想(B)	170,000	9,000	7,500	5,000	12.37
増減額(B-A)	△ 2,500	0	0	0	
増減率(%)	△ 1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	
(ご参考) 前期実績 (平成27年3月期)	172,544	8,925	6,603	9,793	24.23

2. 連結業績予想の修正の理由

通期の連結業績予想につきましては、前回(平成27年5月8日)発表の業績予想における前提を、銅価6,000米ドル/トン、為替110円/米ドルとしていましたが、直近の動向を考慮し、下期では、銅価を5,300米ドル/トン、為替を120円/米ドルへ変更しました。金属部門では、銅価の下落と共同製錬先の減産により減収となる見込みです。ロックドリル部門では、堅調な需要を背景として増収となる見込みですが、産業機械部門、ユニック部門では、直近の状況を踏まえ、売上高を下方修正しました。これらにより、連結全体では、売上高を下方修正しています。なお、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、営業利益の部門内訳を見直しましたが、連結全体では前回発表どおりとしています。

(注) 本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上